

## 令和元年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

佐賀市立富士小学校

4月に文部科学省による学力・学習状況調査を実施しました。全国的な義務教育の機会均等と水準向上のため、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析し教育の改善を図るとともに、児童生徒一人一人の学習改善や学習意欲の向上につなげることを目的としているものです。

結果を基に、本校児童の学力の傾向を分析し、学力向上について対応策をまとめました。その概要についてお知らせいたします。

### ■ 調査期日

平成31年4月18日(木)

### ■ 調査の対象学年

小学校6年生児童

### ■ 調査の内容

#### (1) 教科に関する調査(国語、算数・数学、英語)

- ・ 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ・ 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容

#### (2) 生活習慣や学習環境に関する質問紙調査

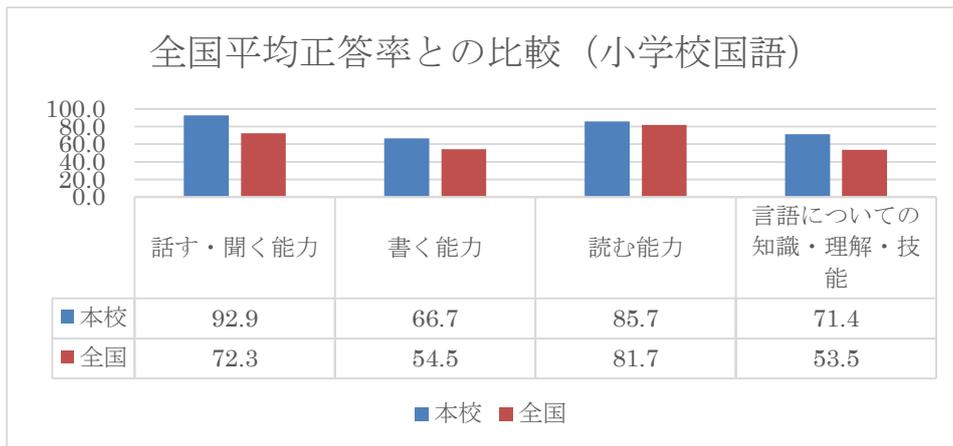
児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面に関する調査 (例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理解度、読書時間、勉強時間の状況など	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査 (例)授業の改善に関する取組、指導方法の工夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との連携の状況など

### ■ 調査結果及び考察について

全国学力学習状況調査は小学6年生・中学3年生と限られた学年が対象であり、教科は国語と算数・数学、英語に限られています。さらに、出題は各教科の限られた分野(問題)です。したがって、この調査によって測定できるのは、「学力の特定の一部分」であり「学校教育活動の一側面」であることをご了解の上、ご欄ください。

## ■ 調査結果及び考察

### 1 国語



#### (1) 結果

4領域のうち全領域で全国平均正答率を上回った。分布の割合を見ると、上位の児童が多く、下位に偏ってはいない。無回答率をみると全問題で全国平均よりも低かった。

#### (2) 成果と課題

##### 【話すこと・聞くこと】

・ほとんどの問題で正答率が全国平均を大きく上回っている。相手の意図を考えながら聞き自分の考えをまとめ話す指導を今後も継続して行っていきたい。

##### 【書くこと】

・「資料をどのような目的で用いているか適切なものを選択する」問題で、正答率が全国平均71%に対して本校平均は64%であった。図表やグラフの特徴を知った上で目的に応じて適切な図表やグラフを作成したり文章から引用したりする学習を行っていきたい。

##### 【読むこと】

・「目的に応じて、文章の内容を的確に押さえ、自分の考えを明確にしながらか読む」問題で正答率が全国平均80%に対して本校平均は71%であった。目的に応じてどのような情報が必要なのかを明確にした上で、文章に書かれている話題や内容、構成の仕方などに注意しながら読む力を付けていく必要がある。

##### 【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】

・ほとんどの問題で正答率が全国平均を大きく上回っている。新しい漢字を含めた語彙力をさらに身に付けさせていきたい。

#### (3) 学力向上のための取り組み

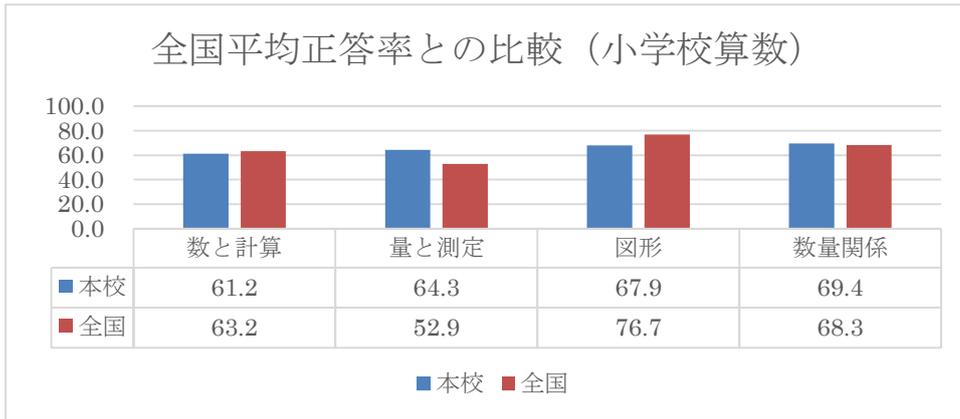
##### 【学校では】

- 朝の時間には、読書タイム（読み聞かせ）を行い、本に親しませる時間を確保しています。
- 授業では、自分の考えを表現し伝え合う場を数多く設定し、人の意見と比べたり、参考にしたりして、自分の考えがより深まるような授業づくりを目指しています。
- 長期休業の後には、「富士っ子チャレンジ」を行い、合格点クリアを目指し、国語、算数の基礎・基本問題に挑戦させています。やり直しをしながら繰り返し取り組むことで基礎基本の定着を図っています。

##### 【ご家庭では】

- まずは音読が基本です。音読を毎日聞いてあげましょう。繰り返し音読することで、文の構成、言葉の意味を理解し、文節ごとにきちんと区切ってすらすら読めるようになります。文章を読み、要点や意図を捉えることは、国語科だけでなく全ての教科の学力向上に不可欠です。
- お子さんと会話を楽しみましょう。聞くときは最後まできちんと聞き、話すときは語尾まではっきりと話しましょう。共感したり、根拠を尋ねたり、お互いの考えを交流しましょう。
- 読書のジャンルを広げてあげましょう。文学・科学・歴史・地理・芸術…いろんな本を読み、いろんな表現や用語にふれることで、語彙力を高め知識の幅を広げることができます。

## 2 算数



### (1) 結果

「量と測定」「数量関係」の領域で全国平均を上回っている。しかし、「数と計算」「図形」の問題では、全国平均を下回っている。

### (2) 成果と課題

#### 【数と計算】

・「減法の計算の仕方についてまとめたことを基に、除法の計算の仕方についてまとめると、どのようになるのかを書く」問題で、全国平均 31%に対して本校平均は7%であった。計算に関して成り立つ性質を見だし、表現することができる力を育てる必要がある。

#### 【量と測定】

・ほとんどの問題で正答率が全国平均と同等、もしくは上回っている。今後も数量の関係に着目して筋道を立てて考え、数学的に表現・処理し得られた結果から判断することができるように指導していく。

#### 【図形】

・「二つの合同な台形を、ずらしたり、回したり、裏返したりして、同じ長さの辺どうしを合わせてつくることができる形を選ぶ」問題で、全国平均 60%に対して本校平均は 43%であった。図形の性質や構成要素に着目して、図形を観察・構成することができるようにする指導の充実を図っていきたい。

#### 【数量関係】

・「 $1800 \div 6$ は、何m分の代金を求めている式といえるのかを選ぶ」問題で、全国平均 47%に対して本校平均は 21%であった。立式した式が何を表しているのかを振り返り、式の意味について理解を深めることができるよう指導する必要がある。

### (3) 学力向上のための取り組み

#### 【学校では】

- 朝のスキルタイムの時には、級外職員も加わり、基礎・基本の課題に取り組ませています。
- 授業では、自力解決の後に、自分の考えを述べ、他の人の意見を聞いて考えをまとめ、発表する活動（伝え合う活動）を通して表現力の育成に努めています。
- 課題提示の時や具体的操作をしながら学習を進める時には、電子黒板を効果的に使い、分かりやすい授業作りに努めています。

#### 【ご家庭では】

- お子さんが今何を学習しているのか、理解できているのか、解くのにどれくらい時間がかかっているのか、ドリルやプリント等の宿題・テストに目を通しましょう。そしてお子さんにたくさん励ましや称賛の言葉をかけましょう。
- 算数好きにするには、「習ったことが生活の中で使えて、便利だな。おもしろいな。」と思う経験をさせるのが一番です。生活場面で算数を使ってみてください。「おかし数えでかけ算」「おかし分けで割り算」「料理で重さ」「お風呂で水のかさ」「買い物で割合」「折り紙で分数」「家の中で図形探し」など、ちょっと意識するだけで、身のまわりには算数を使えるものが意外とあります。

### 3 生活習慣や学習習慣に関する調査

#### (1) 結果

《生活習慣・挑戦心・規範意識について》

調査項目	本校 %	全国平均 %
朝食を毎日食べていますか。	92.9	86.7
毎日同じくらいの時刻に寝ていますか。	50.0	38.9
毎日同じくらいの時刻に起きていますか。	35.7	58.7
家の人（兄弟姉妹を除く）と学校の出来事について話をしますか	50.0	50.1
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか。	50.0	30.1
学校のきまりを守っていますか。	92.9	46.7
人が困っているときは、進んで助けていますか。	71.4	40.4
いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。	100.0	85.0

起床について以外は全国平均を上回っています。起床については早起きができるように学校でも指導を続けているところです。今後とも「早寝・早起き・朝ごはん」の習慣が確立するよう、ご家庭の協力をよろしくお願いします。

本校の6年生の実態では、遅刻や不登校傾向は見られません。これは家庭の協力なしにはできないことであり、保護者の皆様に感謝します。

《家庭学習の様子》

調査の項目	本校%	全国平均 %
家で自分で計画を立てて勉強をしていますか。	21.4	33.1
学校の授業時間以外に、普段1日当たりどれくらいの時間勉強していますか。 「3時間以上」	7.1	12.1
「2時間以上、3時間より少ない」	28.6	16.9
「1時間以上、2時間より少ない」	35.7	36.8
「30分以上、1時間より少ない」	21.4	24.1
「30分より少ない」	0	7.6
「全くしない」	7.1	2.3

学習時間は、平日2時間以上と答えている児童の割合が35.7%、逆に1時間未満と答えている児童の割合が28.5%となっており、2極化していることが伺えます。連絡ファイルやすこやかチェックなどを通して家庭と連携しながら、家庭学習の充実を目指します。また、自分で計画を立てて勉強をすることの大切さを考えさせ、家庭学習が習慣化するように指導をしていきたいと考えます。

#### (2) 改善に向けての取り組み

##### 【学校では】

- 毎日、「音読」「漢字の書き取り」「プリントやドリル」を基本に宿題を出しています。自主学习（自学）についても、お手本になる自学ノートを掲示する等して意欲を喚起しています。
- ボランティアによる読み聞かせ、読書ソムリエ（目標の冊数に到達すると校長からシールをもらえる）などの読書の機会を増やす取り組みを行っています。また、多読者を図書室前に掲示したり、学期末には集会の中で紹介し褒めたりして意欲づけをしています。
- 学期ごとにすこやかチェックを実施し、ご家庭と協力して基本的生活習慣の定着を目指します。

##### 【ご家庭では】

- 定期的にお子さんの学習用具（教科書、ノート、筆箱）の様子をご覧になってください。用具を通してお子さんの学習への取り組みの様子が分かることがあります。
- 規則正しい生活（早寝・早起き・朝ごはん）を送ることは、子どもの健やかな成長に欠かすことができないものですし、学力を身に付けるためにも必要不可欠です。「すこやか週間」の時には、起床時刻、就寝時刻、学習時間、テレビやゲームの時間を見直し、その改善について親子で話し合ってみてください。